

## 普及活動情勢報告（令和7年3月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

### 新植推進と剪定で収量・品質アップ！

～四万十ぶしゅかん生産組合～



2月15日、四万十市川登の生産者ほ場2カ所で四万十ぶしゅかん生産組合の植え付け・剪定講習会が開催され、生産者13名、関係機関2名が参加しました。

農業改良普及課からは、苗木の植え付け方法や主枝・亜主枝の誘引・整枝法、切り返し剪定、間引き剪定について指導を行いました。

生産者からは「植え付けの留意点やポイントがわかった」「間引き剪定と切り返し剪定の使い分けは？」「低樹高仕立や誘引方法を実践したい」といった声がありました。

今後も個別での現地巡回指導を実施し、ぶしゅかんの安定生産に向け、支援していきます。

### 幡多地域での今年度の活動事例を共有

～第2回幡多地域農福連携協議会～



2月26日、四万十市の中村合同庁舎で幡多地域農福連携協議会を開催し、福祉事業者を含む関係者18名が参加しました。

会では、幡多地域で取り組まれている農福連携の事例の中で、「ナスの袋詰め作業」と「ピーマンの袋詰め作業」について、福祉関係者の発表後に、2グループに分かれ意見交換を行いました。

参加者からは、農福連携の働きかけ方や注意点、労働環境などについて、活発な意見交換が行われました。

農業改良普及課は事務局として、令和6年度の協議会での活動実績の説明と会議の運営を行いました。

今後も農福連携のマッチングに向け、関係機関と連携し、支援していきます。

### 令和6年度の普及活動の実績は！

～第2回幡多地区農業改良普及推進協議会～



2月27日、四万十市の中村合同庁舎で第2回幡多地区農業改良普及推進協議会を開催し、農家代表や関係機関等から委員14名の参加がありました。

農業改良普及課からは、今年度の普及活動内容や実績について説明した後、女性農業者支援や農福連携などについて情報提供しました。

委員からは、新規就農確保に向けた取組に対する意見や高温対策、データ駆動型農業等に関する質問がありました。

今後は、委員から出た意見を令和7年度の普及活動に反映し、地域や農業の課題解決に取り組みます。

剪定による低樹高化を推進！ ～JA 中村支所・三原出張所合同によるユズ剪定講習会～



2月28日、四万十市勝間川でJA主催のユズ剪定講習会が開催され、中村・三原の生産者18名、関係機関9名が参加しました。

農業改良普及課からは、講師として普及指導員3名が剪定を実演し、生産者に見学してもらいながら、剪定方法について指導を行いました。

柚子2部会での合同開催は初めての試みで、青果栽培者が減少する中で、中村と三原のユズ生産者が交流を深める機会になりました。

今後も関係機関と協力して、栽培技術の向上を目指し、支援していきます。

県内初！集落営農の合同会社を設立 ～合同会社スマートアグリ中村設立総会～



3月6日、四万十市役所で合同会社スマートアグリ中村設立総会が開催され、管内の5集落営農組織から8名の出席がありました。当社は、5組織が連携する広域連携組織であり、各組織が抱える共通課題を解決するため設立されました。

農業改良普及課では、四万十市と連携し、会社設立に係る運営体制の整備に向けた支援や情報提供を行ってきました。

当社では、来年度に農業用ドローンを導入し、組織間での共同利用により労働力不足を解消する計画です。

当社の代表社員である(農)四万十利岡FARMからは「この広域連携の取組が四万十市の農業の維持・発展につながることを期待する」と挨拶がありました。

今後も関係機関と連携し、集落営農組織間における広域連携の取組を推進し、支援していきます。